

議会改革特別委員会委員長中間報告

令和2年第2回定例会において本委員会に付託され、令和2年第3回定例会から閉会中の継続審査となっていました「議会の活性化、議会組織機能、議会運営等の議会改革に関する調査・研究」について、委員会を開催いたしましたので、審査経過の概要を下記のとおり報告いたします。また、この間、議会改革に関する議員研修会を開催いたしましたので、その内容についても併せて報告いたします。

記

【第7回】 審査年月日 令和2年9月4日(金)

第7回の委員会では、議長からの要請事項である「予算決算特別委員会の設置」を令和2年第3回定例会から「予算決算常任委員会の設置」という形で実施することとなりましたので、今後の議会の活性化、議会組織機能、議会運営等の議会改革に関する調査・検討のテーマについては、「通年議会」及び「議会ライブ配信など情報公開」を順次議題とすることを確認しました。

また、議会改革の全般に関し、講師を招いての議員研修会を開催するため、具体的な調整を進めていくこととしました。

【第8回】 審査年月日 令和2年10月8日(木)

第8回の委員会では、はじめに令和2年第3回定例会から初めて設置した予算決算常任委員会について、運営等に関する検証を行うため意見交換を行いました。委員からは、「分科会後の委員会全体会において、各分科会長による審査内容の報告に対する質疑答弁では十分な理解が得られない場合に、執行部に対し質疑することにより確認できると良いが、各分科会で審査した

後に全体会を開催する仕組みになっており、現行のルールではそれができないので、検討が必要である」との意見がありました。

なお、このことに関しては、議会運営委員会において審議され、当面の間は現行のルールのまま実施していくこととなりましたが、本特別委員会としては、次の予算審議の状況等を踏まえながら、再度の検討を求めることで意見が一致しました。

続いて、通年議会制の導入の是非についてを検討したところ、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により補正予算等にかかる市長専決が多く行われたこともあり、導入に賛成の意見がありました。一方で、通年議会制のメリットやデメリット、先進事例の状況など、知識が不十分なままでは判断が難しいという意見もあり、一度各会派に持ち帰って検討することとしました。

【議員研修会】 開催年月日 令和2年11月4日(水)

本特別委員会が主催となり、全議員を対象として「議会改革に関する研修会」を開催しました。北本市の出身で埼玉県都市整備部副部長の堀井徹氏を講師にお招きし、埼玉県議会事務局議事課長としての豊富な経験に基づき、「議会改革全般について」を演題として、予算決算常任委員会の運営手法や通年議会制等について、大変有意義な御講演をしていただきました。

【第9回】 審査年月日 令和2年11月13日(金)

第9回の委員会では、令和2年11月4日に開催した議会改革に関する議員研修会を振り返り意見集約するとともに、前回、各会派に持ち帰りとなっていた通年議会制の導入の是非について議論しました。委員からは、「市長専決の多発など懸念される事項はあるものの、本市の状況に鑑みれば、その懸

念を通年議会制によって抑止するのではなく、執行部と議会との信頼関係により適切に臨時議会が開催されるべきであり、現時点で導入の必要性は低い」との意見が多数を占めました。したがって、通年議会制については当面の間、本市議会への導入を見送ることに決定しました。

以上がこれまでの審査経過であります。今後更なる調査研究及び議論を深めるため、引き続き閉会中の継続審査とすることに決定しました。

以上、報告いたします。

令和2年12月22日

議会改革特別委員会
委員長 黒澤健一

北本市議会議長 滝瀬光一様